

令和元年度 全国学力・学習状況調査の結果

1 学力調査問題より ※平均正答率(%)

<全国学力学習状況調査の結果（令和元年度 6年生 4月時点）>

平均正答率(%)	国語	算数
瀬谷さくら小学校	51	62
神奈川県（公立）	61	67
全国（公立）	63.8	66.6

<横浜市学力学習状況調査との比較（平成30年度 5年生 2月時点）>

	国語	算数
瀬谷さくら小学校	60.5	38.8
横浜市	62.9	52.5

国語・算数に共通

「選択式」ではない「記述式」形式の問題の正答率が低く、無回答率が高い。

国語 平均正答率が神奈川県の正答率よりも 高いもの=○ 特に低いもの=△

○ 目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読むこと。

△ 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。

△ 文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くこと。

△ 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめること。

算数 平均正答率が神奈川県の正答率よりも 高いもの=○ 特に低いもの=△

○ 図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成すること。

○ 棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ること。

○ 加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすること。

○ 目的に適した、伴って変わる二つの数量を見出すこと。

△ 示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述すること。

△ 示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に除法に関して成り立つ性質を記述すること。

△ 示された除法の式の意味を理解すること。

2 児童質問紙より

○ポイントの高い項目（10ポイント以上）

- ・先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う。
- ・学校に行くのは楽しいと思う。
- ・外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う。
- ・授業で学んだことを他の学習に生かしている。
- ・国語の勉強は大切だと思う。
- ・国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。
- ・国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしている。
- ・算数の勉強は好き。
- ・算数の授業の内容はよく分かる。
- ・算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えている。

○課題を感じる項目

- ・学校の授業以外に、普段、1日当たり、あまり勉強をしていない。
- ・今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあつた。
- ・今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方を書く問題で、解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあつた。

3 今後の対策と指導の方向性

（国語）

- 文章を書く中で漢字を使うよう意識づける。
- 目的に応じて、話し合ったり、自分の考えを話したりする時間を確保する。
- 読書の機会を多く設ける。

（算数）

- 文章題など、比較的情報量の多い問題を設定し、その中で条件に合う情報を選択できるようにする。
- 除法について、必要に応じて基本の問題から復習をする。